

職務経歴書

20xx 年 1 月 9 日現在

氏名：XXX XXX (28 歳)

これまでに携わった講師の仕事について、その概要と、そこでの経験が今後どのように活かせるか、ということについての現在の考えを、以下に記します。

在籍期間： 20xx 年 10 月 ～ 20xx 年 3 月 (0 年 6 ヶ月)

雇用形態： 任期付き非常勤講師 (任期は半年)

1 社名： 学校法人 XXX ゼミナール	
【会社概要】	従業員数 約 161 名 事業内容 大学受験予備校、福祉医療専門学校、留学生教育
【職種】	講師
【担当業務】	日本語教師養成講座の受講者に対して XXX の講義を行いました。 受講生数 10 名 コマ数 週 1 回、20 コマ 講義内容 XX 論・XX 論・XX 論・XX 論・XX 論など
【経験と自己 PR】	<p>日本語教師養成講座は、日本語教師になりたいと考える様々な方が受講されます。私が担当したクラスも、年配の方から 20 代の方、外国人も 1 人いました。各受講者の学歴・職歴も様々で、そのような多様な人々に対して、どのようにすれば XXX のことを理解してもらえるのか、ということについて腐心しました。</p> <p>評判が良かったのは、毎回の授業の終わりに配布するコメント用紙でした。その用紙に、その回の授業で分からなかった点や質問、その他コメントを記してもらいました。そして次の回の最初に、コメントの内容を取り上げ、時間の許す限り、ひとつひとつ答えました。このことは、一方向的になりがちな講義形式の授業において、双方向的な意見のやり取りを活発化し、受講生の満足感を高めました。</p> <p>住宅の仲介においても、お客様からの質問・要望を受け、これに適切に答えるというプロセスが不可欠であると思います。といっても、私がとった「コメント用紙」のやり方は、直接には使えないものかもしれません。しかしながら、相手の抱えている疑問や期待に積極的に応答するという私の気構えは、この分野においても適用できるものと信じます。</p>

在籍期間： 20xx 年 5 月～ 20xx 年 5 月（0 年 1 ヶ月）

雇用形態： 任期付き非常勤講師（任期は 1 ヶ月）

2 社名： 学校法人 XXX 学園 XXXX 大学	
【会社概要】	事業内容 大学としての教育・研究
【職種】	講師
【担当業務】	短期語学留学中の韓国人学生に対し語学研修を行いました。 受講生数 30 人×2 クラス コマ数 20 コマ×2 講義内容 初級・中級日本語
【経験と自己 PR】	<p>受講生は韓国の語学系専門学校の学生でした。研修は教科書を使って進めることになっていましたが、私は授業時間が余った際には、次のようなことをしていました。あらかじめ、休み時間などに彼らのちょっとした話を聞いておきます。たとえば、日本の美容室に行ったが、どうオーダーすればいいかよく分からなかった、という話がありました。このような話題を授業の余り時間の題材として取り入れました。具体的には、オーダーの仕方を私が演じて見せ、次に彼らにもやってもらう、というものです。このようにして実生活に密着した日本語を学んでもらおう、という意図でした。</p> <p>教育も仲介職も、サービス業という点では共通しています。それらの仕事では、言われたことやマニュアルを忠実に実施することも重要だと思います。しかしながら、その通りにやるばかりでなく、相手にもう少し満足してもらえるために自分なりのやり方を取り入れてみる、ということも重要であると思います。このような創意工夫の精神が、御社で役立てられるのではないかと考えています。</p>

その他、パソコンの基本的な操作は良くできる方ではないかと思えます。Microsoft Office では次のようなソフトが使えます。

- Word（論文等の原稿の執筆で毎日のように使っています。テンプレート機能を使った効率的な文書作成をすることができます。）
- Excel（データの処理で使い込みました。基本的な関数を使用したり、ちょっとしたマクロを作ったりできます。）
- PowerPoint（学会発表時の必須ツールでした。）